

5歳女兒の水疱瘡の改善と共に、心が成長したケース

ファミリーホメオパス13期生 竹永 悠香



発表内容

- 主訴 症状
- レメディー選択
- 選択の根拠
- 経過
- 考察

主訴： 水疱瘡 5歳女児

症状：

上唇にヘルペスのような膿ができ、全身を確認したところ、
胸や背中周辺にもいくつかの発疹ができていた。

翌日病院を受診し、水疱瘡と診断される。

抗ウイルス薬や塗り薬等、数種類の薬を処方されたが、
薬は使わず、全てレメディーで対処する。

唇の水痘は同じ場所が何度も、「膿み～かさぶた」を繰り返した。

レメディーの選択

予防キットから選択

Varic.

Herp-z.

Rhus-t.

Puls.

Merc.

基本キットから選択

Merc.

Thuj.

Sulph.

レメディーを選択した理由

講義で習ったことやマテリアメディカを参考に、手元にあるキットから以下のレメディーを処方

予防キットから選んだレメディー

- Varic. 予防の講義で習ったマテリアメディカを参考に「水痘のノゾーズレメディー」を選択
- Herp-z. 予防の講義で習ったマテリアメディカを参考に「ヘルペスのノゾーズレメディー」を選択
- Rhus-t. 予防の講義で習ったマテリアメディカを参考に「皮膚症状、発疹に良いレメディー」を選択
- Puls. 予防の講義で習ったマテリアメディカを参考に「子供のかかる病気に良い」ということで選択
- Merc. 予防の講義で習ったマテリアメディカを参考に「マヤズム治療に」という特徴から選択

基本キットから選んだレメディー

- Merc. マテリアメディカの中で「予防接種の害・水銀の害だしに良い」という特徴から選択
- Thuj. マテリアメディカの中で「予防接種の害だし・皮膚発疹に良い」という特徴から選択
- Sulph. マテリアメディカの中で「排出に良い」という特徴から選択、また講義で症状の終盤に使うとよいと習ったため、出し切るために後半で使用

経過

上唇の水痘は痛みを帯び、

膿んで→かさぶたになり→また膿み、4～5回繰り返した。

後半でSulph.を入れ排出を促すと、胸・腕・足に水痘がさらに出てきた。

上唇以外の終息は早く、発症から1週間程で
保育園に登園できた。

考察

持っていた予防キットで、講義で習った通りに素早く対応ができたことで、薬に頼らず出し切ることができたのではないかと思います。

療養中、山ほどあったおもちゃを半分以上、断捨離してくれました。

捨てないと言い張っていた子が何の執着もなく、いらぬおもちゃとお別れできたことが素晴らしいと思いました。 Puls.の「依存に良い」という効果により、おもちゃへの依存から解放されたのかなと思いました。

また、水疱瘡にかかりきると「面倒くさいインチャ」がなくなると講義で習いましたが、歯磨きや保育園の準備、着替え、習い事など自分から丁寧に行えることが増えました。

今回使ったレメディーはこちらのキットから選択しました。

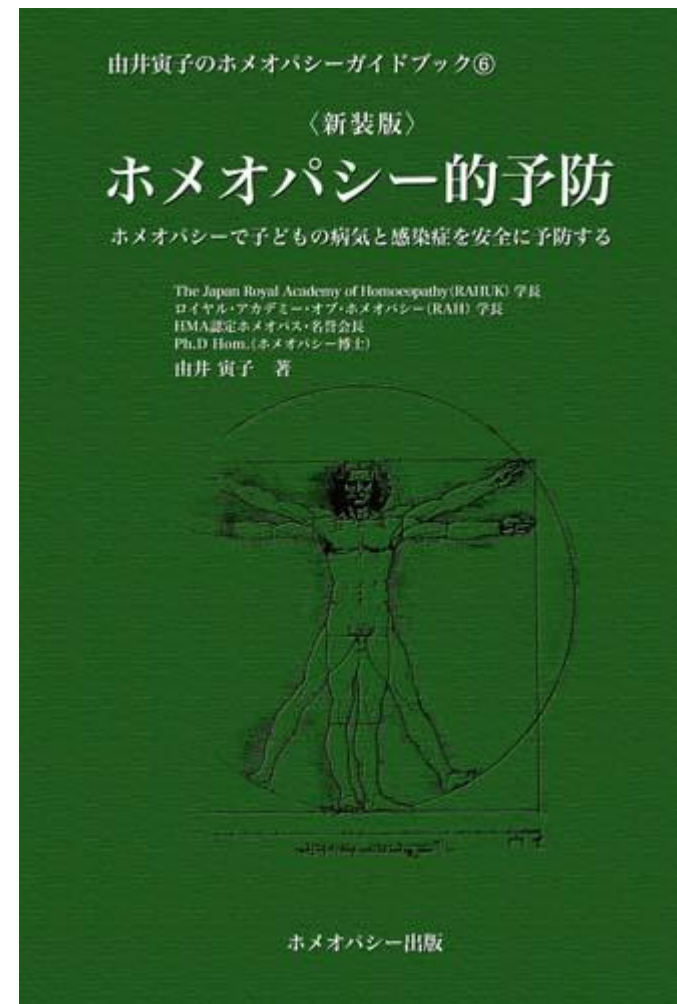
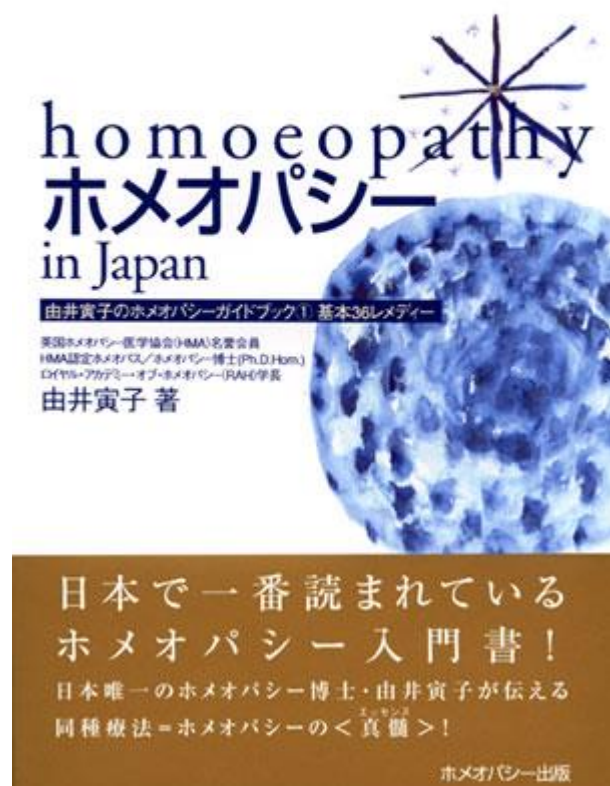
いつもそばに。家族を守る基本キット



備えて安心の予防キット



ファミリーホメオパスコースで習った内容だけでなく、
ホメオパシーin Japan、ホメオパシー的予防の本をいつも参考にしています。



最後に。

薬に頼らず、レメディーだけで水疱瘡が改善し、同時に子供の心の成長を感じることができ、ホメオパシーの素晴らしさを実感しました。

また、これまで何故おもちゃを手放せなかったのか、母親としての関わり方を見直すきっかけになりました。

ホメオパシーを知ってから、病気は怖いものではないと思えるようになり、必要あって出ている症状ならば、とことん向き合おうと思えるようになりました。

この気づきや体験に感謝するとともに

さらなる学びと実践を深めていきたいと思います。